

手づくり郷土賞^{ふるさと} (大賞部門)

郷土の個性！
魅力創出！！



平成17年度募集案内

手づくり郷土賞 (大賞部門)

平成17年度スケジュール

平成17年6月

募集開始

平成17年7月

募集締め切り

平成17年10月

選定委員会
受賞物件選定

平成17年11月

選定結果の発表
認定証伝達式

手づくり郷土賞(大賞部門)とは

手づくり郷土賞(大賞部門)は、「手づくり郷土賞」を受賞してから10年以上にわたって地域の魅力を創出し、または地域のシンボルとなっている各種の良質な社会資本を選定することにより、地域の自然的・社会的条件に適合した良質な活動を促進し、個性的で魅力的な地域の実現に寄与することを目的としています。

募集対象

対象：「手づくり郷土賞」を受賞してからも長く良質な社会資本として認められ、現在も引き続き地域の住民に親しまれ、積極的に維持、活用されるなど、地域に定着し、個性的で魅力的な地域の実現に寄与しているもの。

：昭和61年度～平成2年度に「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本

応募：過去(昭和61年～平成2年度)に「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本を主体的に維持管理する市区町村は、都道府県を窓口として応募することができます。

提出していただくもの

応募用紙および参考資料とそのデータ

様式は国土交通省ホームページよりダウンロードしてください。

(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tebukuri/taisho/index.html>)

応募用紙および参考資料に使用した写真のデータ(300dpi程度のもの)



選定

都道府県で受け付けられた応募物件は、地方整備局等でとりまとめの上、「手づくり郷土賞(大賞部門)」の対象であるかのチェックを行い、「手づくり郷土賞」選定委員会に提出され、応募用紙および参考資料により、厳正な審査を経て選定されます。

評価のポイント

選定委員会における選定は、以下の視点に特に着目して行われます。

地域への定着状況(地域のシンボルとなり、地域に定着した社会資本となっているか、地域住民の参加により新たな地域活動がなされ、地域の魅力創出に寄与しているか など)

利用状況(手づくり郷土賞を受賞後、現在まで継続的に利用されているか、多くの地域住民に利用され地域づくりに資しているか、整備当時の入り込み客数の予測と現況との比較 など)

管理状況(手づくり郷土賞を受賞後の管理状況、現在までの地域住民の参画状況 など)

活動団体の取組状況(～ に関する活動団体の取組状況 など)

参考事例としての意義(先進的事例で他の参考となる取組みであるか など)

その他(手づくり郷土賞を受賞後、評価すべき特徴的な波及効果が見られるか など)



募集対象案件

平成17年度は、昭和61年度～平成2年度に手づくり郷土賞を受賞した480件が対象です。

昭和61年度選定

人と風土が育てた家並 30選
ふるさとが誇りとする橋 30選
ふれあいの水辺 30選

昭和62年度選定

いきいきとした楽しい街並み 30選
ふれあいの並木道 30選
水辺の風物詩 30選

昭和63年度選定

小さなふれあい広場 30選
ふるさとに恵みを与える川 30選
やすらぎとうるおいのある歩道 30選

平成元年度選定

いこいとふれあいの道 30選
生活の中にいきる水辺 30選
歴史をいかした街並み 30選

平成2年度選定

街灯のある街角 30選
生活を支える自然の水 30選
花と緑の手づくりふるさと 30選
ふるさとの坂道 30選



実施体制

主催：国土交通省

協賛：全国建設弘済協議会

(社)近畿建設協会

(社)沖縄建設弘済会

(社)東北建設協会

(社)中国建設弘済会

(財)港湾空間高度化環境研究センター

(社)関東建設弘済会

(社)四国建設弘済会

(社)北陸建設弘済会

(社)九州建設弘済会

(社)中部建設協会

(財)北海道開発協会